

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

11

製鐵所設備概要

(昭和六、一、三〇日)

一 創立當初ノ設備ハ年間銑鐵一〇〇、〇〇〇ト鋼材九〇、〇〇〇ト生産ノ計画ナリ

一 爾後臨時事件費及第一期擴張費ヲ以テ鐵鋼年産額一八〇、〇〇〇ト増大スル計画ヲ立テ即ケ此ノ計画ニ於テハ鋼材年産額一三〇、〇〇〇ト銑鐵ノ供給ヲ他ヨリ仰クコトヲ得ハ年産額ヲ一八〇、〇〇〇ト得ルモノトセリ但シ實際ハ製品二〇、〇〇〇トシテ製造ニ得ル設備ヲナセリ

一 第二期擴張ニ於テハ製品一五〇、〇〇〇ト製造スル計画ニシテ擴張完成後ノ製品製造高ハ三五〇、〇〇〇トセリ但シ要求豫算ハ三〇〇、〇〇〇トナレリ

製鐵所

材製造能力七五〇、〇〇〇トナレリ

一 現今年産額一〇〇、〇〇〇ト算スル所以ノモノハ大正十年四月十六日東洋製鐵ヲ委任管理トシ又大正十二年九月震災地復興用鋼材製造設備費ノ交付アリ更ニ昭和三年十一月九州製鋼ヲ借入レ約八〇、〇〇〇ト増産スルノ外従来作業上附属諸設備ノ完備及製品歩止リノ向上並ニ従来製品ノ大部分ハ陸海軍及鐵道省ノ官廳向キヲ主トセシメ之ニ換ルニ市場販賣品ヲ以テシ一面又單種多産ノ實ヲ揚ケンコト等ニ據レリ

一 第一期改良費ヲ以テ施行セントスルモノハ即ケ従来ノ舊工場設備ハ既ニ頽廢ニ瀕セルモノアリ或ハ規模形式陳腐ニシテ作業能率低劣ナルモノナキニ非ス依テ之ニ一大改良ヲ施シ以テ其ノ代換及補設ヲ主トシテ洞窟ニ建設スルモノニシテ現在其ノ完成セラル鋸鑛炉一基分ト共ニ製品工場完成ノ曉ニ於テハ約二〇〇、

甲

〇〇〇也ヲ増産シ得ルモノトス
一 而シテ第三期擴張費及震災地復興用鋼材製造設備費
並ニ第一期改良費ヲ以テ設備セル大要ヲ示セハ左ノ如シ

製鐵所

第三期擴張費ニ属スルモノ

製鉄工場	區別名	数量	能力	完成年月日	摘要
	第五鋸鑄炉	一基	一日 二七〇電	大正八、二、二八	本設備ハ大鋸鑄炉ニ付テ合併施行セリ
	同上瓦斯新清浄装置	一式	一基 六〇〇立米	一、〇、六、三〇	
	送風機(電気)	二基	一基 一六〇立米	一、〇、一〇、三一	
	第八里田式骸炭炉	一〇〇基	二十四時間 一基 六、〇〇〇K コリス 六、〇〇〇K ホルツ 四、三〇〇K	一、〇、三、三一	
	同上副産物工場	一式	硫安 一〇、〇〇〇	一、〇、三、三一	
	バンゾール工場増築	一式	バンゾール 四、〇〇〇K トルオール 一、〇〇〇K ホルツトエサ 一、五八〇	一、八、三、一四	
	タルン蒸餾工場増築	一式	ピツク 二五、八〇〇 クレオライト 一三、九〇〇 ナフサリン 三、〇〇〇 アスラセ 二、二〇〇	一、七、一、一四	
	第三洗炭工場	一式	一時間 八〇、〇〇〇K	一、八、一、一六	
	原料運搬設置	一式		一、二、六、三〇	
	第六鋸鑄炉	一基	一日 二七〇電	大正一〇、八、三〇	第五鋸鑄炉分ト合併設置
	同上瓦斯新清浄装置	一式		一、〇、六、三〇	
	送風機(蒸気)	一基	一時間 八〇、〇〇〇立米	一、〇、一〇、三一	
	給水設備				雑ノ海水通ト合併ス(ヤセ)
	海水揚送本管及後管	本 九、五二米 後 七、七六	別添ニアリ	一、一、二、二九	
	山神調整地及附属設備	一式		一、二、二、三一	
	鋸鐵流鑄機	一基	二十四時間 一基 一〇、〇〇〇電	一、一、三、二七	
	第九里田式骸炭炉	一〇〇基	二十四時間 一基 六、〇〇〇K コリス 六、〇〇〇K ホルツ 四、三〇〇K	一、一、一、二〇	
	タルン蒸餾工場	一式	ピツク 二七、四〇〇 クレオライト 一三、三〇〇 ナフサリン 三、一八〇 アスラセ 二、三〇〇	一、二、一、一〇	
	硫酸安母尼里工場	一式	硫安 一〇、〇〇〇K	一、一、九、三〇	
	バンゾール工場	一式	バンゾール 四、〇〇〇K トルオール 一、〇〇〇K ホルツトエサ 一、五八〇	一、一、九、三〇	
	第三洗炭工場増築	一式	一時間 八〇、〇〇〇K	一、一、一、三〇	

製鉄所

製品工場										製鋼工場												
第三大形工場	第二大形工場	第五分塊工場	第四分塊工場	板用鋼片工場	原料及鋼滓處理設備	汽管給水管電力線	坩堝製造場	坩堝鋼工場増築	混 銑 工 場	ドロマイト工場	瓦斯奈生炉	第三製鋼工場	石 灰 工 場	瓦斯奈生炉	同上附屬装置	平 炉 (六〇也)	混 銑 炉	平 炉 (六〇也)	第二製鋼工場	混 銑 炉	礦滓處理設備	
一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	二七基	二七基	一式	一式	二二基	二二基	二二基	二二基	二二基	二二基	二二基	一式	
昭和二十一年 一五〇,〇〇〇	昭和二十一年 一三〇,〇〇〇	昭和二十一年 一九〇,〇〇〇	昭和二十一年 一九〇,〇〇〇	昭和二十一年 一五〇,〇〇〇			昭和二十一年 三六〇,〇〇〇	昭和二十一年 四〇〇,〇〇〇	昭和二十一年 二五〇,〇〇〇	昭和二十一年 二二五,〇〇〇	昭和二十一年 三三〇,〇〇〇	昭和二十一年 二六四,〇〇〇	昭和二十一年 七二〇,〇〇〇	昭和二十一年 一〇三,〇〇〇	昭和二十一年 一〇三,〇〇〇	昭和二十一年 二六四,〇〇〇	昭和二十一年 三三〇,〇〇〇	昭和二十一年 三三〇,〇〇〇	昭和二十一年 三三〇,〇〇〇	昭和二十一年 三三〇,〇〇〇	昭和二十一年 三三〇,〇〇〇	昭和二十一年 三三〇,〇〇〇
昭和二十一年 一三、三、三一	昭和二十一年 一三、三、三一	昭和二十一年 一三、三、三一	昭和二十一年 一三、三、三一	昭和二十一年 一三、三、三一	昭和二十一年 一三、三、二〇	昭和二十一年 一三、三、三一	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四	昭和二十一年 一三、二、三四

製 鐵 所

内分塊工場用均熱炉
及附屬設備等あり

製鐵所										雜																	
電力線	給水設備	遠加東川水源地 唧筒増設	河内貯水池	構内給水本管	排水設備	海水道	各工場給水支管	貯炭場	枝光製品倉庫増築	製品置場カッター	製品積込起重機	雜品置場起重機	第六分塊工場	中板工場	硅素鋼板工場	鐵力板工場	鐵鋼工場増築	發條鋼工場	原動力設備	中二汽缶場	水管式汽缶	水管式汽缶	排汽發電所	第三發電所	表電所(自中二)		
一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	
		一分間 汽缶二基 水量 七五〇〇〇 六四〇〇〇	貯水量 七五〇〇〇 六四〇〇〇			一分間 二基 水量 七五〇〇〇 六四〇〇〇		貯炭量 一〇〇〇〇 電	約 三〇〇〇〇 電	五七〇 六六架 六架	一〇〇 七	三七門型	一基 八三〇馬力	二基 八五二〇	一基 三〇〇〇KW	一式 二五〇〇	八所 五〇〇一 一〇〇〇										
大正一五、九、三〇	大正七、三、三一	昭和三、三、二〇	大正一六、一、三一	大正一五、一、三	大正一〇、三、三一	昭和五、三、三一	昭和五、三、三一	昭和五、三、三一	大正九、七、三〇	大正一四、五、三一	大正一三、九、三〇	大正一八、三、三一	大正一八、三、三一	大正一〇、七、三一	大正九、三、二八	大正一〇、五、二五	大正一〇、三、二八	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一	大正一〇、三、三一
	附屬汽缶二基共 送水渠一式共					揚送唧筒三台		洞間	五七〇 三台共		枝光製船壁																

セメント試製場	屋根瓦製造場	石灰工場	鑛滓煉瓦工場	炭滓搬出設備	高地切取	排水設備	修船架	液漚	船溜	繫船壁	繫船壁及船溜	鐵道	貨車	機關車	鐵道及運輸設備	重軌造電起重機	鑛石荷揚起重機	架空索道増設	ケーブルリール増設	鑛石置場	一、二、七起重機	一、五、七起重機	五、七起重機	二、五、七起重機	荷揚起重機	
一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	二ヶ所	二八九坪	四三三八坪	一三〇台	九台	二台	八台	一式	三台	三台	三台	一台	三台	二台	四台			
増八、〇〇〇、〇			増四、〇〇〇、〇												昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一	昭和三、七、三一
																									中央船塢 中央繫船壁	
																									中央船塢 中央繫船壁 河岡南岸 河岡東南岸	
																									中央繫船壁 四台 枕元船塢 四台	

耐火煉瓦工場	一式	一ヶ年増 四、五〇〇、〇 下増一〇、八〇、〇	大正九、一、三〇
製品材料試験場	一ヶ所		八、四、二七
製缶工場移転	一式		六、二、二八
鍛冶工場移転	一式		六、三、三〇
ロール製造工場	一式	一ヶ年一三〇、〇、〇	九、一、一〇
修繕工場増築	一式		九、六、三〇
職工長屋	四四戸		一〇、七、三一
病院隔商室	一式		九、九、四
電燈及電話	一式	昭和五、二、二八	
敷地土工	一式		三、二、一〇
材料置場埋築	一式		二、八、二〇

備考

製鐵所

第三期擴張ハ大正五年度ニ始マリ昭和五年度ニ至ル十五ヶ年ノ
 久シキ亘リテ完成セリ其ノ當初ニ於テ完成ノモノニハ既ニ増減
 改廢ノモノアリ或ハ用途變更ノモノナキヲ保シ難キモ其ノ著
 シキモノヲ除キ大体當時ノ出来形ニ仍リ記載セリ
 完成年月日ハ所謂全工事ヲ完了シタル時ヲ以テセリ然レモ
 工場ノ都合或ハ作業ノ性質ニ依リテハ全部ノ完成ニ至ラ
 サル中ニ作業開始ノモノアルヘシ

震災地復興用鋼材製造設備費三属スルモノ

製品工場	區別名	数量	能力	完成年月日	備考
第六分塊工場 連續三工場及附屬設備 第二小形工場 設備補足		一式	一年五、四〇〇、〇〇〇 二七、〇〇〇	昭和二、一〇、三一 大正一四、六、二	均熟修ニ基 一、式共

製鐵所

第一期改良費ニ属スルモノ									
製鉄設備	區別	名	称	数量	能	力	完成年月日	摘	要
		洞岡第一鋸鑛炉		一基	一日	500也	昭和五、一、三〇		
		瓦斯送風機		二基	一分間	140.0馬力	五、一〇、三一		余熱発生二基共
		湿式瓦斯清浄装置		一基	一分間	100.0馬力	五、六、三〇		清浄器五基
		電気瓦斯清浄装置		一基	一分間	40.0馬力	六、三、二八		トリイター 及ホッパー 二基
		洞岡第一瓦斯溜		一基		100.0馬力	五、八、三一		
		原料處理設備		一基					
		鑛石庫及骸炭庫		一基			六、三、三一		鑛石庫二槽 骸炭庫一槽
		骸炭 スケールベルトコンベヤー		二連			五、一〇、三一		
		横行鑛石車		二台			未完成		
		秤量運搬車		二台			昭和六、三、三一		
		鉬石ベルトコンベヤー		一基			未完成		
		碎 鑛 車		一名					
		鑛石置場起重機		二名					
		石灰ベルトコンベヤー		一基					
		貯 炭 場		一ヶ所	貯炭量 30000也				
		原料洗炭工場		一基			昭和五、三、三一		
		原料洗炭脱水槽		一基			五、三、三一		
		配合洗炭工場		一基			未完成		
		配合洗炭脱水槽		一基					
		原料及配合洗炭貯蔵場		一基			昭和五、九、三〇		
		洗炭粉碎工場		一基			五、三、三一		
		骸 炭 工 場		七五基			五、七、五		余熱発生三基共

製 鐵 所

副産物化工設備					瓦斯連絡設備					動力設備				給水設備						
第一洗炭槽	炭炭輸送設備	吸気室及附属設備	洞岡硫酸工場	洞岡硫酸工場	洞岡鑛滓煉瓦工場	洞岡鑛滓バラス工場	前田タールバラス製造場	セメント工場補足	バンゾール工場補足	タール工場補足	洞岡第二瓦斯溜	瓦斯連絡管	第四発電所増設	洞岡発電所(カキ)	電燈電話及電力線	山神工場用水迂迴設備	洞岡給水装置	洞岡海水唧筒室	海水道	灰水及排水道
一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式	二ヶ所	一式	一式	一式	一式	一式	一式	一式
																一分間 15.3葉				
昭和五、七、五	昭和五、三、八	昭和五、七、五	昭和五、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三	昭和六、三、三	昭和六、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三	未完成	未完成	昭和六、三、三	昭和六、三、三	昭和五、三、三	昭和五、三、三
											6,000葉						昭和六、三、三			
											製鐵所						揚水唧筒三台			

			製鋼設備	鋼材圧延設備	鍍簿處理設備	工作設備		雜	敷地聯絡	繫船壁及荷揚設備
			鐵道	敷地々均シ				埋築	洞園頸却海水暗渠増設	洞園東南岸繫船壁 鑛石荷揚起重機
			一式	一式				一式	二三〇米	一式 三台 一台 一三台
										昭和六三三一外未着手工事アリ
			未着手	未着手	未着手	未着手				未完成

製鐵所